

第98回 関西画像研究会案内

拝啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、今回の関西画像研究会では透視画像におけるノイズ低減技術についてテーマを取り上げ、日立メディコ社の遠藤亜矢子さんに、そして、ノイズ低減フィルタの有効性や臨床応用について、大阪市立大学医学部附属病院の米坂聡一郎氏にからにお話し頂きます。

今回のメインとして、滋賀医科大学医学部附属病院の今井方丈先生に、「デジタル画像の撮影条件と画質について」と題してご講演いただきます。

本内容は今年4月横浜で開催された日本放射線技術学会総会にて、ご講演された内容です。基礎的な画像形成の過程をアナログとデジタルを比較しながら、新人の方にもとても解りやすく解説されており、興味深い内容となっております。

皆さんお誘い合わせの上、多数のご参加をお待ちしています。

=====

日 時：2014年 6月 28日（土）午後2時～5時まで

会 場：大阪市立大学医学部附属病院内 18階 第4会議室

参加費：1000円

【プログラム】

1. 「FPD搭載X線透視撮影装置における透視画像対応新ノイズ低減処理技術について」

遠藤 亜矢子 先生 （日立メディコ XR営業本部 XRアプリ課）

午後2:00～2:45

2. 「X線透視装置におけるノイズ低減フィルタの有効性と臨床応用」

米坂 聡一郎 先生 （大阪市立大学医学部附属病院 中央放射線部）

午後2:45～3:15

3. 「デジタル画像の撮影条件と画質について」

今井 方丈 先生 （滋賀医科大学医学部附属病院 放射線部）

午後3:30～5:00

=====

お問い合わせ 大阪市大病院、岸本